

〔岡崎 晋議員 登壇〕

○3番 岡崎 晋君 よろしくお願ひします。一括質問し、一括答弁をいたひいて、再質問をさせていただきます。

まず1番目の平和発信と観光事業の継続発展について。代々の、これまでの町長やあるいは関係者の皆様のご尽力で、沖縄戦の体験を基にこれまで平和文化の発信事業が続けられ、大きな成果を上げてきております。私はこれを高く評価いたします。また観光資源の少ない本町で観光事業がどう発展してけるか、非常に関心を持っております。先日10月に南風原文化センターが徳島県の中学校の一つのクラスを相手に、中央公民館でオンライン平和学習の試みがありました。事前に何かのニュースでこれを知った私はお願ひして、見学させていただきました。そしてこのオンライン学習の有効性を非常に感じました。その2日後にテレビのニュースで見たんですが、沖縄県のガイドの会もオンラインで平和学習を発信したというニュースを見ました。こういうことを背景に質問いたします。まず

(1) 本町から平和を発信する沖縄陸軍病院壕公開事業や文化センター活動をどう継続強化していくか。(2) 一括交付金終了後、現行事業をどう継続していくか。(3) オンラインでの平和学習発信に取り組んでほしいがどうか。(4) 限られた観光資源をより活用するために、観光協会・文化センター・ガイドの会三者の連携を深め、平和学習事業で修学旅行等の誘致をさらに推進してほしいがどうか。(5) 20号壕体験学習の見学料見直しや懐中電灯貸出しの有料化など、収益向上に努めてほしいがどうか。

大きな2番、自治会の集団資源ごみ回収について。(1) 自治会の各種団体に対する報償金の目的は何か。(2) 自治会での資源ごみ回収の現況はどうか。(3) 自治会の資源ごみ回収を継続拡大させてほしいがどうか。(4) 回収業者に支払う委託費を回収団体への報償金に振り分けることにより本来の目的をより達成できるのではないか。

大きな3、南風原・与那原バイパスの騒音粉じん対策について。(1) 開通が期待される中、沿線住民には騒音・粉じん被害の不安が続きます。どんな対策が講じられるか確認しましたか。①騒音対策はどう講じられるか。②粉じん対策はどう講じられるか。③その他どんな対策が講じられるか。

大きな4、コロナ禍での虐待予防について。虐待は必ずしも子供だけではないんですが、今回は子供への虐待について伺います。(1) コロナ禍の下で全国的に子供への虐待が増えています。本町の現状はどうか。(2) 保育園、学校現場からどんな声が届いているか。

(3) 国・県から具体的な対策が出ているか。それについて町はどう対応できるか。(4) 町に具体的な予防策はあるか。ご答弁お願ひします。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1点目、平和発信と観光事業の継続発展についての(1)についてお答ひいたします。文化センター事業のさらなる魅力的な企画立案やあらゆる機会を通しての情報発信に努め、事業を展開してまいります。

(2)でございます。平和・文化発信に必要な事業は継続して取り組むとともに、事業や展示方法に工夫を凝らし修学旅行団を含めた来館者の拡大を図り、財源確保にも努めて

まいります。

(3)です。本町主催の子ども平和学習交流事業や徳島県の牟岐中学校との平和学習ではオンラインで行いました。今後も幅広く活用してまいります。

(4)です。これまで以上に観光協会やガイドの会をはじめとする関係団体と連携を深めるとともに、より魅力的な事業展開を図り、平和学習事業や修学旅行等の受入れを推進してまいります。

続きまして、(5)です。文化センターの持続可能な事業運営に向け、幅広い視点から財源確保を検討し、収益向上に努めてまいります。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目の自治会の集団資源ごみ回収について。(1)についてお答えします。ごみの減量、資源化を推進し、それにより生活環境の保全を図ることを目的とし、南風原町資源ごみ集団回収事業報償金交付要綱に基づき、一般廃棄物の中から資源化できるごみを回収する町内の団体に対し、予算の範囲内で報償金を交付しております。

(2)についてお答えします。資源ごみの集団回収を行う団体として、登録されている自治会は宮平ハイツ自治会のみです。

(3)についてお答えします。自治会の資源ごみ回収の活動については、各自治体の判断で実施するものと考えております。

(4)についてお答えします。現在、古紙類の処理委託料の経費削減について調査検討をしており、集団回収団体への報償金の在り方も含め検討してまいります。

質問事項3点目の南風原・与那原バイパスの騒音粉じん対策について。(1)についてお答えします。南部国道事務所によると、整備中の南風原バイパス・与那原バイパスについては、計画前に環境影響調査を行い、計画道路整備後も環境基準値を超えないとの調査結果であるため、現時点では騒音、粉じん等に対する環境対策は講じていないとのことですが、しかし、事業完了後、事後調査を行い基準値を超える調査結果が出た項目については、騒音等、それぞれの項目に対して対策を講ずるとの報告を受けております。

質問事項4点目のコロナ禍での虐待防止について。(1)についてお答えします。昨年度、町の虐待関係の相談件数は195件で、今年度は12月1日時点で210件となっております。

(2)についてお答えします。各現場からは長期間の臨時休園、休校の際、子どもたちがどのように過ごしているか心配との声があり、特に気になる子どもたちについては回数を増やして電話連絡や、必要に応じて家庭訪問を行っている旨の報告がありました。

(3)についてお答えします。コロナ禍における対策として、子どもの見守り強化アクションプラン、心のケア等に関することが国から示されており、町では各機関と連携し、対応しております。

(4)についてお答えします。各関係者や関係機関が連携し、早期発見と継続的な支援を行うことが予防策だと考えます。以上であります。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。1番目の平和発信と観光事業、心強いご答弁をいただいてありがたいと思います。あるガイドさんの縁で徳島県の中学校とのオンライン平和授業がなされましたけれども、修学旅行が来ると、彼らは、旅行者は、学校は10分単位のスケジュールで追われます。旅程を組むのに大変なんですね。ですから、もしオンラインで沖縄に来る前に座学など、ビデオ学習などができれば、彼らのここでの行程が随分と助かるんですね、ここでビデオや座学などをしないで済むと。もう一つは、その平和学習をオンラインで広めることによって沖縄に来たい、南風原に来たいという学校も増えると思うんです。ですからそういうことに、これからさらに取り組んでいただきたいと思うんですけれども、ただそれは文化センターだけでは大変だろうと思うんですね。産業振興課の観光協会とかガイドの会とか、そういうところとのさらなる連携が必要だと思うんですけれども、その必要性を盛られたお答え、回答内容だと私は理解しております。そういったことを商工会とも一緒に取り組んでいくことは可能でしょうか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまのご提案ありがとうございます。これまでも観光協会、ガイドの会をはじめ、文化センター、3者で連携していろいろ取組を進めてきたところではありますが、ただいまご提案のありました商工会等々も今後協議を重ねて、一緒になって取り組めることがあるかを含めて、役割分担等を確認しながらより一層の連携を深めて取り組んでまいりたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 産業振興課のほうではいかがお考えですか。

○議長 玉城 勇君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 先ほど生涯学習文化課長からもお話がありましたように、役割分担があると思いますので、観光協会としての協力は惜しみませんけれども、商工会についてはどういった形で連携できるかも含めて、今後調整してまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 文化センターの皆さん、観光協会の皆さん、いろんな面で頑張っておられます。例えば観光協会はこういったら大変恐縮ですけれども、この観光資源の少ない南風原町でよく頑張っておられますけれども、本当南風原町で観光協会が必要かという声を私以前に耳にしたこともあるんですね。だけど、そういう声がないようにさらに私が質問したように、お答えいただいたように観光協会、文化センター、そしてガイドの会などで、あるいは商工会と一緒にあって是非文化センターの事業、それから観光協会の事業

を發展させていってほしいんですね。ガイドの会は、私も多分最初の頃、10年以上前にガイドの養成講座を受けて修了書をもっているんですが、それをなくなっているの、その資格が今あるかどうか分かりませんが、今ガイドの会には何名ほど登録されていますか。

○議長 玉城 勇君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 お答えします。大変申し訳ないです。私のほうでは、その数字については把握しておりません。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 多分30名ちょっとだと思っんですが、ガイドの会の皆さんはこのコロナ禍でなかなか活動が限られていて、悶々としておられると思います。ですから先ほど話しました修学旅行、これまでに聞いた数字ですと去年の実績ですかね、約70校が南風原町に来てくれています。これをさらに増やしていってほしいんですね、修学旅行。沖縄県が調査した資料によると時期が不明ですけども、沖縄に来る修学旅行の学校に対してアンケートを行った結果、中学校の8割、そして高校の6割が修学旅行か課外授業で平和学習を取り入れているという数値が出ています。ですから、この平和学習あるいは文化の発信というのは、本町においては今後もさらにニーズが高まっていくと思います。ですから今日ご答弁いただいたとおり、是非関係者の皆さんの連携を強めていって、頑張りたいと思います。それで文化センターの体制ですね、オンライン学習を進めていくとなると、現在の人数、再生でどれぐらいやれるのかなということも気になるんですけども、設備のことも含めて今後の見通しを教えてくださいませんか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 現時点で把握している範囲でお答えいたしますと、まずオンラインを活用というのがこのコロナ禍において取り組んできた事例となっております。先ほど議員からもご紹介いただきました徳島の牟岐中学校とのオンラインを通した平和学習のほうも、実はそのときは中央公民館のほうから発信させていただきました。今後はそれを文化センターのほうでも実施できるように、中央公民館の回線を活用しつつ、その他環境整備は文化センターでも執り行って、コロナが終息した後でも議員からご提案があったように、修学旅行団が事前学習の活用のできるツールの一つとして、その辺を活用しつつ、事業に関しましてはこれからなものですから、まだ具体的な数値は把握できておりません。それにどんどん受入れを進めながら、より効率的に事業を展開していきたいと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 多分ですね、ただいまの現状の文化センターの人数の体制で、私が

望んでいるオンラインの平和学習の発信を広めていくためにはかなりきついんじゃないかなと思うんですよ。ですから先ほど話したガイドの会とか観光協会とか、そういうところと一緒にあって、是非進めていっていただきたいと思いますが、教育部長、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 ご提案があるように観光協会、それからガイドの会も含めて文化センターの職員だけで受け入れるという形ではなくて、いろんな形で観光協会が中心になってみたりとかですね、いろんな形で様々な受入れができるかと考えています。特に人数的な部分、それから体制的な部分については、先ほど提案があった様々な関係団体がその得意得意なところを伸ばしていくような形で対応していけるように今後考えていきたいと思えます。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。よろしく申し上げます。ついでなので、経済建設部長はいかがお考えですか。

○議長 玉城 勇君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城政光君 観光協会、そして商工会等とも、また教育委員会とも連携して、しっかりこの事業が展開できるように連携していきたいと思えます。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。よろしく申し上げます。この質問の最後のほうの、(5)の収益向上に努めていただきたいということを提案しておりますが、例えば20号壕のパンフレットですが、ここに入場料もあります。町外からの小中学生からは20名以上の団体に対して、1人50円、あるいはこの壕を利用なさる皆さん、体験なさる皆さんに懐中電灯を無料で貸している。例えば身近で言うと糸数のアブチラガマ、私もかなり前に入りましたが、この20号壕とは規模が違いますけれども、それでも20分ちょっとで終わったと思います。懐中電灯も必要ですし、向こうでは軍手も必要でした。アブチラガマでは懐中電灯を100円で貸し出していて、軍手を1組50円で販売しています。1人でも多くの方に来ていただきたいと、黄金森にですね。そういうお考えで頑張っておられる方もいらっしゃるけれども、ただ懐中電灯などは電池の消耗、点検が必要ですよ。人手がかかります。私、ホテルで働いていてロビーや玄関に朝いると、修学旅行生が出発するときに添乗員さんや先生が「懐中電灯はすぐ取り出せるようにしておいてください」と大きな声でしょっちゅう叫んでいます。懐中電灯を100円均一で買ったかもしれないけれども、携帯を持ってきて持ち帰るんですよ。それをここで無料でというのはどうなのかな

と。それぐらいは料金いただいてもいいんじゃないのかなと考えますが、いかがですか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまのご質問ですが、先ほどの回答からもありましたように、幅広い視点から財源確保を検討し、収益向上に努めていくという観点も含めて、もう少し調査研究させていただきながら、先ほど仮にいろんな料金の値上げによって数が減ってしまったりすると、またそれも逆効果になってしまいますので、総合的に判断しながら、もう少し調査研究して、検討していきたいとまいりたいと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。この1番の平和文化の発信と観光事業の発展については、私も非常にこれからも関心を持ち続けて、微力ながら私も協力できるところはお力になりたいと考えております。ありがとうございます。

2番目の自治会の集団資源ごみ回収について。報償金を払っております。実際、各団体が資源ごみを回収することに対して報償金を払っておりますが、その目的は何かと伺っておりますが、ごみの減量資源化の促進、生活環境の保全などを目的に町内の団体に対して予算の範囲内で報償金を交付しております。(2)の現況はどうでしょうかということに対して、自治会は宮平ハイツ自治会だけですというお答えでしたが、私が伺いたかったのは言葉足らずだったかもしれないけれども、各自治会で子供会、PTA、あるいは青年会、野球少年、そういった団体が集団でごみを回収しています。そういったことを伺っているんですけれども、もう一度、お答えいただけますか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。子供会とかPTA青年会が登録しているのは、自治会と思われる場所は10か所となっております。現在4か所はお休みしているということです。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私たちの新川だけでも少年野球、青年会、PTAと子ども会は活動していないので、でも少なくとも2つ、あるいは3つ登録していると思いますけれども、違いますか。今10か所というお答えだったので、町内全体で10の団体だけですか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。現在登録されている団体は79か所です。

うち自治会と思われる部分が10か所ということです。先ほどおっしゃっていたのが野球少年とかスポーツクラブとかバレーボールとか、そういったものは数に入れておりません。それは全部入れて79か所という部分の中に入ってきます。自治会としては振り分けはしておりません。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 新川で言えば、今月は子ども会と、来月は少年野球とか、次は青年会とかそういうふうに来てきていました。でも残念ながらこのコロナ……コロナ禍ではなくて、1月から始まった持ち込み、運んでいって古紙を売るのに1キロ1円しかしないのでそれでやめちゃっているんですね、今。アルミ缶だけをやっています、新川では。79登録されている団体のうち、今活動していないのは、今活動しているのは幾つでしょうか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 登録しているのは79か所ですけれども、活動しているのは55か所で、今年度申請があったのは40か所になっております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 79というと、約80。今年度ということは4月以降に登録したと思いますけれども、それが40。半分になったということですね。そういう理解をしているんですけれども。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 補足します。この79か所というのは積み上げたというか、以前から登録されている数です。そのうち活動をしているのが55か所です。こちらのほうは休止とか取消しとか、そういったものを除いての数になっております。これが活動しているのが55か所で、うち集団回収をして申請があったのが40か所ということになります。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 やはり今、活動しているのは40だと私は思っています。それも新聞紙、古紙をやっているかどうかまでは把握できていないですよ、多分。多くの団体が新聞や段ボールはやっていないと思います。それで、この(3)の質問、(4)の質問……、(4)の質問のお答えでは、現在古紙類の委託処理料の経費軽減について調査検討しており、集団回収団体への報償金の在り方も含め検討してまいりますというお答えですが、その前の(3)についてのお答えは、自治会の資源ごみ回収を継続、拡大させてほしいがどうかという提言に対しては、自治会の資源ごみ回収の活動については各自治会の判断で実

施するものと考えております。この（３）のお答えに私は失望を覚えています。なぜかという、集団ごみ回収はただの資金稼ぎだけではなくて、資金造成だけではなくて、地域のコミュニティーを形成しております。各家庭が毎週ためておいて、その月の決まった日に放送があったりなどして、その日に出してくれるんですよね。それは協力なんですよ。これを親子たちで回収する、子ども会や少年だけでできるわけないから親たちも一緒にやるんですね、おじいちゃんたちも手伝う。そういうコミュニティーがあるんですよ。そういう受け継がれてきた土壌、文化を継続させていただきたいという提言をしているんですけども、自治会の判断で実施するものと考えてというのは、私は本当に失望しております。それを継続させてほしいという働きかけをしてほしいんですよ。それが報償金や、あるいは委託料の使い方を考えていただきたいということなんですけれども、総務部長、私の今の質問、意見に対していかがお考えですか。

○議長 玉城 勇君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 先ほど答弁があったとおり、この回収については各種団体がそれぞれの思いを持って、我々の趣旨、目的に対してやっていますが、各団体はそれぞれの思いがあるということでやっているものと考えておりますので、その団体が自主的に取り組んで、今後も取り組んでいくものと考えております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 今の報償金と、それから委託料の現状を教えてください。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 報償金は1キロに対して4円です。古紙処理委託料のほうは1キロ7円になっております。4月から9月までは6円でしたけれども、10月から値上がりして7円になっております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 集団回収団体の報償金の在り方を検討してまいりますということで、それに期待しております。各自治会で集団改修をしなくなったから、ワークプラザ南風さんが改修する古紙が増えているわけですね。そこに集まったたくさんの古紙をその利用者たちが分別して東新川にある回収業者が回収に来る。それがその運搬賃、引き取りの費用が1キロ7円なんですよね。今、集団回収している団体に1キロ5円ですか4円……4円を払っている。もしこの団体が持って行って、運んで行って売ったら1円、報償金と合わせて5円ですね。町は団体には4円払うけども、運んでいく回収業者には7円を払うわけよね。この3円の差、この使い道を是非有効にさせていただきたいという私のお願いなんですけど、いかがでしょうか。もう一度伺いたいと思います。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 古紙売りには大分経費がかかっております。今後は、どうしたほうがいいかということで、これから調査検討をしていきたいと思っております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 いろんな財政が厳しい中、いろいろ予算を縮小したり、自治会への事務委託費を2年据え置きとか、新川ではその委託費は自治会に入って、それから区長に払っていますので、自治会の収入も減っています。いろんなところでこういう資源ごみ回収というのは、自治会の地域のパワーになっていると思います、パワーに。ですからそのパワーをさらに、パワーがそがれないように是非前向きなご検討をお願いいたします。

3番目、南風原・与那原バイパスの騒音粉じん対策について伺いました。お答えは事前に調査したところ、基準を超えることはないということだったので、対策は現在のところ特に取っていないというお答えです。それでは改めて伺います。道路から発生する騒音については、どんな原因があると認識されていますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。騒音としましては、路面の状況に応じてですね、車の走行が考えられますので、その騒音の低減がなされているという状況ですけれども、南部国道事務所のほうでは、先ほどの答弁のとおりでございますけれども、騒音とかその他の項目についての環境の基準は一応クリアしているという事前の調査結果でございますので、そのとおりでございます。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 今の質問にお答えいただいていると思うんですけども、事前にどんな調査をしたかは分からないですよね。基準値に収まるということをどのような方法で得たのか、数値を得たのか分からないです。住民環境課に伺います。住宅街の騒音環境測定は年に1回やっていると思いますけれども、町内のどこでやって、何曜日に、何時頃に、どれぐらいの時間をやって、そしてその計った時間で何デシベル以上の音が、どれぐらいであれば基準内なのか。どのように観測されているんでしょうか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。町内でやっているのは年に1回です。場所は3か所になります。津嘉山の国道507号のバイパス道路ですね、スターバックスの近くです。2点目が宮平のカラオケとまとの近く。そして3点目が兼城603番地で居酒屋の

魚武士の近くになっております。年に1回なんですけれども、曜日のほうは決まっております。24時間ということになりますので、朝の6時から翌日の6時まで、1時間おきに実施しております。10分間の計測となっております、全て適正になっておりますので、こちらのほうは75デシベル以下になっております、全て。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 24時間観測して70を超えたことはないということですか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 全て超えておりません。一番高いところで兼城の昼間で69デシベル、一番低いところが夜間のほうになりますけれども、津嘉山の57デシベルになっております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 まちづくりのほうへ伺います。町から、たしか南部国道事務所には要請をされているんですよね。どんな要請をされたんですか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。本町では、南部国道事務所のほうに騒音への対策として路面の排水性舗装へ変更することの軽減が図られないかとか、状況に応じては防音壁、または落下防止策が考えられるのではないかということで、南部国道事務所のほうに要請というか、確認をしております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 先ほどの騒音の原因についてはかくとしたお答えがなかったんですが、エンジン音、排気音、タイヤの路面から、あるいは反射音とかいろいろな音があります。今おっしゃった南部国道事務所に要請したという路面について、排水性舗装というのがあるんですが、この排水性舗装が採用されないということなんですけれども、この排水性舗装の効能とか効果について伺います。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。一般的にアスファルト舗装には、一般的な密粒度アスファルトと、それから今議員がおっしゃっていたような排水性舗装というふうな、大まかに区分されるかと思えます。それで一般的に申しますと、乗用車で時

速100キロで走行したときに9.5デシベルが排水性舗装をすることによって6デシベルまで低下するというので、約36%ぐらいが軽減図られるというふうな状況です。それから大型車両での時速80キロで走行した場合については、6.5デシベルが3.5デシベルまで低下しますので、約46%の軽減が図れるというふうな試算もされているようです。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 すみません、排水性舗装というものについて、もう一度どういうものなのか教えてください。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 一般の舗装と比べまして、排水性ですので、空隙があって水を浸透していくというふうな構造、材料となっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 それで先ほどおっしゃった吸音効果もあるので、消音効果も高いので排水性舗装が本当は望ましいんですね。だけど、それができなかった。それを検討するというのも、南部国道は私の質問では聞き終えていたんですけれども、それができないということはどうしてでしょうか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 答弁の内容にもございますけれども、今南部国道事務所のほうでは、環境影響評価をしまして、その中で基準値を超えないというふうな事前の評価をしておりますので、それに基づいて排水性舗装は今のところ必要ないという状況です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 騒音には道路、舗装と舗装のつなぎ目、ジョイントも所によってはぱたぱたと音もしますけれども、このバイパスではジョイント部分はどうなるんでしょう。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。今議員の質問に関しては把握をしておりますので、南部国道事務所のほうに確認していきたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 このバイパスは、イオン南風原店から新川十字路の直前100メートルぐらいまで上り坂が続きます。当然、中型車両、大型車両の通行が増えます。この上り坂を加速して上がっていくんですね。あそこは左側も右側も丘になっていて、谷間になります。もしも開通後に住民から要請があれば、自治会から要請が出たら、町あるいは南部国道事務所が住民の皆さん立ち会いでこの環境測定をやっていただけますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。ただいまのご質問ですけれども、もちろん町としましては、地域住民からのこういった調査に対する立ち会いか要望がございましたら、南部国道事務所のほうに、町のほうから立ち会いを要望していきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 南部国道さんは、事業の前にはちゃんと住民説明会をやりましたと当然の答えでしょうけれども、その説明会で住民から出てきた質問や不安などに対してはどう解決できるのか、したのか分からないですよね。ただ基準には達しないという答えだけで。ですから、今私が最後に聞いた住民からもし要望があれば、是非住民立ち会いで観測ができるようにお取計らいをお願いします。

4番目のコロナ禍での子供への虐待予防について。数字がありました、前年は195だったんですけれども、今年は12月1日時点で210ですか、この数字についてはいかが思われますか。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。前年度は年間を通して195件、現在12月1日時点では210件となっておりますので、件数自体は増えているものだという認識でございます。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 NHKの調査では1月、6月で10%増えているそうです。全国の児童相談所が対応した件数です。10%増えたと。5月だけは休校などの影響もあって、5月だけは前年より減ったんですけれども、6か月間で10%増えたと。1月、2月はそれほど影響はなかったと思うので、3月以後の、3月から6月の間で相当に増えたと。これ10%というのは6か月間ですから。ですから、対応しただけでもこれだけ増えています。

すから、対応できていない潜在している事例が多々あるんだろうと危惧されます。予防についてどのような対策が取れるのか、取っていただけるのか伺っていますが、子供の見守り強化アクションプラン、心のケアなどに関することが国から示されていると。町は各機関と連携して対応していますと。私は、特に虐待については、対症療法よりも事前の予防がより大切だと考えています。対症療法というのは何にしる、目に見えて結果が現れますから相手に喜んでもらいますので、すぐに。けどもこの予防ということはなかなか難しいことです。こども課だけではできないことではないと思うんですけども。ちょっと話がそれますけれども、4日前のテレビのニュースで、妊娠中あるいは産後にうつになる方が通常は1割だそうです。けどもこのコロナ禍で3割になっていると。親たちや家族の中での不安や焦り、いろんなことが子どもたちに向かっているんですね、今。それを予防していただきたいというのが私の4番目の、予防に力を入れていただきたいというのが4番目の質問ですが、こども課だけで対応できることではないと思っています。当然、私が最初の頃、ここに立った頃に申し上げたように、教育と福祉は切り離せないと考えています。当然この予防策というのは1年でできるとは考えていません。1年か、あるいはそれ以上かけてネットワークなりを構築していかないといけないと思っています。